BSCA 公開シンポジウム
― Cx に関わる技術者の資質とは ―

日　時：　１０月２１日(金)　１３：３０～１７：００
場　所：　大阪ガス御堂筋東ビル　３階ホール（裏面をご覧ください）
主　催：　建築設備コミッショニング協会（BSCA）
共　催：　（社）大阪 ESCO 協会
協　賛：　（社）空気調和・衛生工学会　近畿支部

本シンポジウムは、（財）建築技術教育普及センターの普及事業助成を受けて実施いたします。

主　旨

建築設備のコミッショニング過程で性能検証や運転の最適化をおこなうためには計測データの分析が不可欠です。しかし多くの場合、収集データは膨大でデータの形式も様々であり、かつ欠損や異常値もあるため、必要なデータを抜き出して処理し分析する作業は様々な困難を伴い多大な時間がかかるのが通例です。また、分析に必要なデータ計測がなされていないことも多く、計測器を用いた計測作業が別途必要となることも日常茶飯事です。こうした作業を実施する人材を BSCA では性能検証専門技術者（Cx-TE）と位置付けています。しかし現状では、こうした適切な人材を見つけるのは簡単ではありませんし、何が具体的に必要な資質であるかについてのコンセンサスもありません。そこで、本シンジウムでは、Cx-TE の技能と資質はどうあるべきかについて公開で議論し、既に軌道に乗りつつある Cx-PE 資格と対をなす Cx-TE の輩出を目指して、その資格要件を整理したいと考えます。是非、Cx-TE になろう、あるいは Cx-TE を教育しようという観点から、色々なご意見を持ち寄って頂き活発な議論をして頂きたいと思います。

内　容

13:30　理事長挨拶
　　中原信生（建築設備コミッショニング協会理事長）
13:35　主旨説明
　　吉田治典（建築設備コミッショニング協会副理事長、岡山理科大学教授）
13:40　「改修設計の性能検証において必要なデータ処理技能」
　　藤原弘史（(株)関電エネルギーソリューション　技術開発部）
13:55　「施工現場での性能検証に必要な計測とデータ処理技能」
　　山本一郎（高砂熱学工業(株) エンジニアリング事業本部）
14:10　「運用段階における空調運転最適化に必要なデータ処理とモデル化技能」
　　宮田征門（(独)建築研究所環境研究グループ）
14:25　「既存建物の性能検証におけるデータ分析と補完業務としての計測技能」
　　松下直幹（(株)アレフネット設備情報システム部）
14:40　「機能性能試験における Cx-TE の役割」
　　上谷勝洋（東洋熱工業(株) 技術統轄本部技術研究所）
14:55　「搬送系の機能性能試験における計測とデータ処理」
　　三浦克弘（鹿島建設(株) 技術研究所）
15:10　「シミュレーションを用いた性能検証事例とモデル化技能」
　　住吉大輔（九州大学大学院人間環境学研究院）
15:25　（休憩）
15:40　パネルディスカッション
　　３名の Cx-PE から、Cx-TE の資質要件について発表の後、討論
17:00　終了

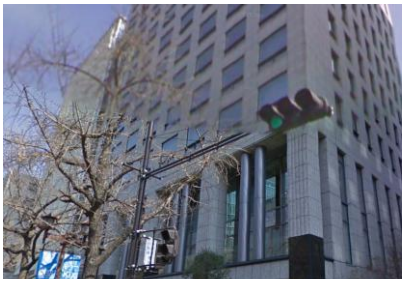
会場へのアクセス

場　所　大阪市中央区道修町三丁目5番11号

大阪ガス御堂筋東ビル（通称 OME ビル）3 階ホール

開場　13:00

注意：　大阪ガスビルとは異なり、大阪ガスビルの東北対向角に位置しています。建物に看板が掛かっておりません。一階は DYNGHY（ディンギー）というカフェテラスです。



会場ビルまで

大阪市営地下鉄御堂筋線・淀屋橋駅にて下車。

11 番出口（三菱 UFJ 銀行南隣）から南方向へ徒歩すぐ。

御堂筋東側の 13 階建てビル。（写真は外観。道修町 3 丁目交差点から北東方向。）

会場ビルに入られてから

エントランスホール右階段を上がり、2 階総合受付にお越しください。**当日は、受付では受付が必要ありませんので、**そのまま 3 階ホールに上がってください。（適宜、経路ご案内の自立板設置ないし貼紙掲示をしています。）